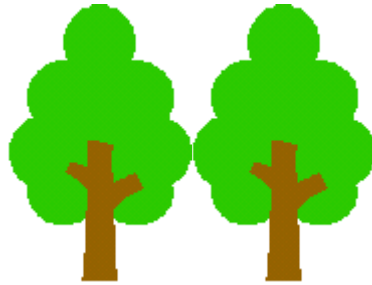


# 治療と生活のポイント

## インフューザーポンプを使用して 在宅で治療を受けられる方へ



成田赤十字病院

### 【治療中のインフューザーポンプの取り扱いについて】

- ・インフューザーポンプは専用のポーチに入れ、内ポケットに入れたり、ななめ掛けやウエストポーチのようにしてご使用ください。（下の写真）
- ・治療の際は、専用のポーチを忘れずにご持参ください。
- ・落としたり、ぶついたりしないように注意してください。
- ・ルートにはたるみを持たせて、ひっぱったりしないように固定してください。
- ・治療中の激しい運動や、ポートを挿入している方の手をあげる動作は、針が浮き上がることがあるため、控えるようにしてください。
- ・定期的に薬剤が減っているか、必ず確認してください。ポンプのゴムのしほみ具合や、はかりを使用して確認をする方法があります。
- ・体温により、速度を一定に保つため、センサー部分は体につけた状態にして（下の写真）、ラインは衣類の下に通してください。また、ポンプを外気などの低温にさらし、薬剤を冷やさないうご注意ください。
- ・車の運転時はシートベルトがポート刺入部にあたって痛い場合や、締められすぎる場合があるので、注意してください。（ななめ掛け）（ウエストポーチ）



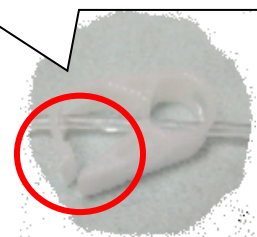
### 【入浴について】

- ・治療中は、感染予防のために、ポート部分を濡らさないようにしてください。下半身のみのシャワー浴か、身体を拭くことをお勧めします。
- ・インフューザーポンプやルートも中に水が入る可能性があるため、濡らさないように気をつけてください。
- ・服を着替えるときも、ルートを引っ張ったりしないよう気をつけてください。
- ・針を抜いた後、2時間程たっても出血がみられない時は入浴できます。
- ・ポート部分は強くこすらないようにしてください。

### 【就寝時の取り扱いについて】

- ・クレンメは2カ所ありますので、就寝前にルートの接続がゆるんでないか、ルートが曲がっていないか、クレンメが閉じていないか確認してください。
- ・インフューザーポンプやルートが身体の下にならないように、ポンプを頭の上（枕元）に置いたほうが安全です。

クレンメが開いている状態



# 緊急時の対応について



※下記のようなことがあった場合、病院へ連絡してください。

## ① 時間がたってもポンプの中の薬剤が減らない

まず、ルートを確認します。

途中で折れていたり、クレンメが閉じていたりしていませんか？

センサー部分はきちんと皮膚に固定されていますか？

このようなことがなく、薬剤が減らないときは、カテーテルの閉塞が考えられますので、病院へ連絡後、すぐに来院してください。

## ② ルートの中に血液が流れ込んできた

まずは、慌てずクレンメをとめて、針を抜いてください。刺入部は消毒して絆創膏を貼ってください。ポンプやルート、針は付属のジッパー袋に入れ、病院へお持ちください。カテーテルが閉塞してしまうおそれがあるので、病院へ連絡後、すぐに来院してください。

自分で針を抜くことのできない方は、クレンメを止めて来院してください。

## ③ ルートの接続から薬剤が漏れてくる、接続がはずれてしまった、ルートが切れてしまった

薬剤が残っている場合でも、空気の混入予防と清潔保持のために、クレンメをとめて針を抜いてください。刺入部は消毒して絆創膏を貼ってください。なるべくビニール手袋を使用し、直接薬剤が皮膚に触れないように取り扱ってください。薬剤が手についた場合は、石鹸を使用し、水道水で手を洗ってください。ポンプやルート、針は付属のジッパー袋に入れて病院へお持ちください。

病院へ連絡後、すぐに来院してください。

自分で針を抜くことのできない方は、クレンメを止め、はずれた部分にガーゼなどをまき、病院へ連絡後、来院してください。

## ④ 注入中に皮膚が腫れてきたり、発赤や痛み、違和感がでてきた

薬剤が漏れている可能性があるため、クレンメを止めて針を抜いてください。その後、病院へ連絡後、すぐに来院してください。

ポンプやルート、針は付属のジッパー袋に入れ、病院へお持ちください。

自分で針を抜くことのできない方は、クレンメを止め、病院へ連絡後、来院してください。

## ⑤ 針が抜けかかっている

クレンメを止めて針を抜いてください。その後、病院へ連絡後、すぐに来院してください。ポンプやルート、針は付属のジッパー袋に入れ、病院へお持ちください。自分で針を抜くことのできない方は、クレンメを止めて来院してください。

## ⑥ 針が抜けてしまった

刺入部をアルコール綿で消毒し、絆創膏を貼ってください。

なるべくビニール手袋を使用し、直接薬剤が皮膚に触れないように取り扱ってください。薬剤が手についた場合は、石鹸を使用し、水道水で手を洗ってください。ポンプやルート、針は付属のジッパー袋に入れて病院へお持ちください。

## ⑦ ポンプが破損してしまった

空気の混入予防と清潔保持のために、クレンメをとめて針を抜いてください。刺入部は消毒して絆創膏を貼ってください。

なるべくビニール手袋を使用し、直接薬剤が皮膚に触れないように取り扱ってください。薬剤が手についた場合は、石鹸を使用し、水道水で手を洗ってください。ポンプやルート、針は付属のジッパー袋に入れて病院へお持ちください。

病院へ連絡後、すぐに来院してください。

自分で針を抜くことのできない方は、クレンメを止め、破損したポンプを付属のジッパー袋に入れ、病院へ連絡後、来院してください。

### ⑧ 針を抜いた後、血が止まらない

アルコール綿を使用し、5分ほど圧迫止血を行います。  
それでも止まらない場合には、病院へ連絡後、来院してください。

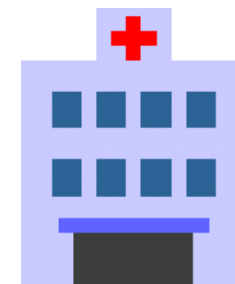
### ⑨ 針を抜いた後、ポートの部分の皮膚が赤くなっている

ポート部分の皮膚の発赤やかゆみ、熱をもっているなど、いつもと違う症状があるときや、38℃以上の発熱がある場合には、感染などの可能性がありますので、病院に連絡してください。

## <連絡先>

成田赤十字病院（代表）

電話：0476-22-2311



※連絡の際に伝えていただきたいこと

- 名前
- 在宅で化学療法を行っていること  
(ポートが入っていること)
- トラブルの内容
- 現在の症状
- 診療科、担当医師（主治医）
- 診察券番号



平日の朝8時半～夕方5時

} 各科外来

上記以外の時間、  
土曜、日曜、祝日

} 救急外来

平成20年7月17日 作成

平成23年8月 4日 改訂

平成25年9月20日 改訂

平成28年9月13日 改訂

令和 2年2月28日 改訂

令和 3年2月26日 改訂

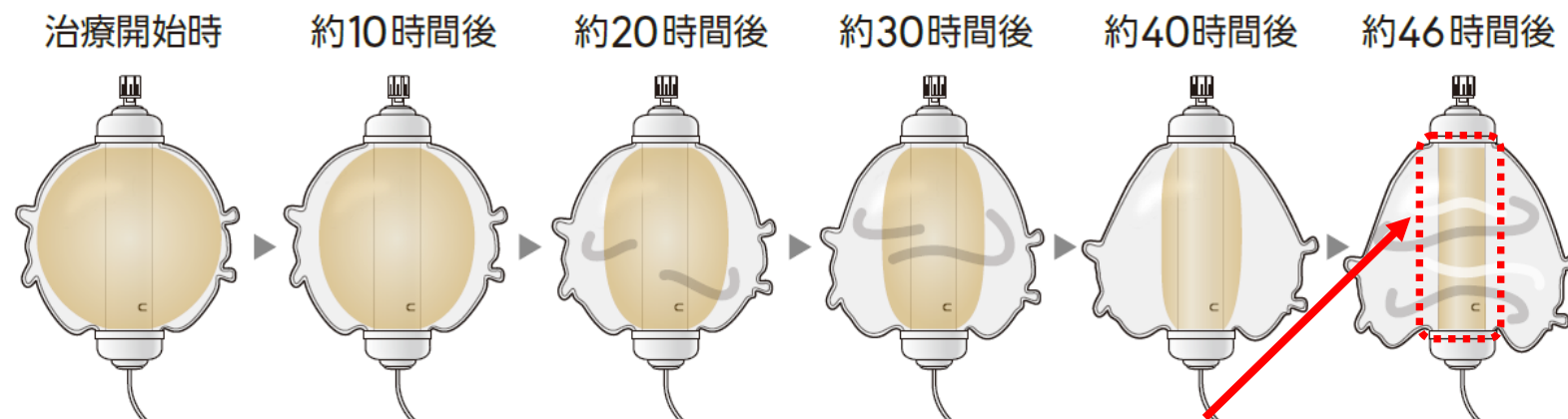
# 薬剤の減り方の確認方法

※就寝時、起床時、昼食後など、**1日に3回**を目安に、薬剤が減っているか確認して下さい。注入時間の目安は46時間になります。投与量や低温に曝されるなどの気温条件により、注入時間は数時間ほど前後いたします。針を抜く前には、ポンプのゴムの張りがなくなり、中心部の軸を触ることができるか確認してから、針を抜きましょう。

以下の方法により、薬液が順調に注入されているか推察することができます。

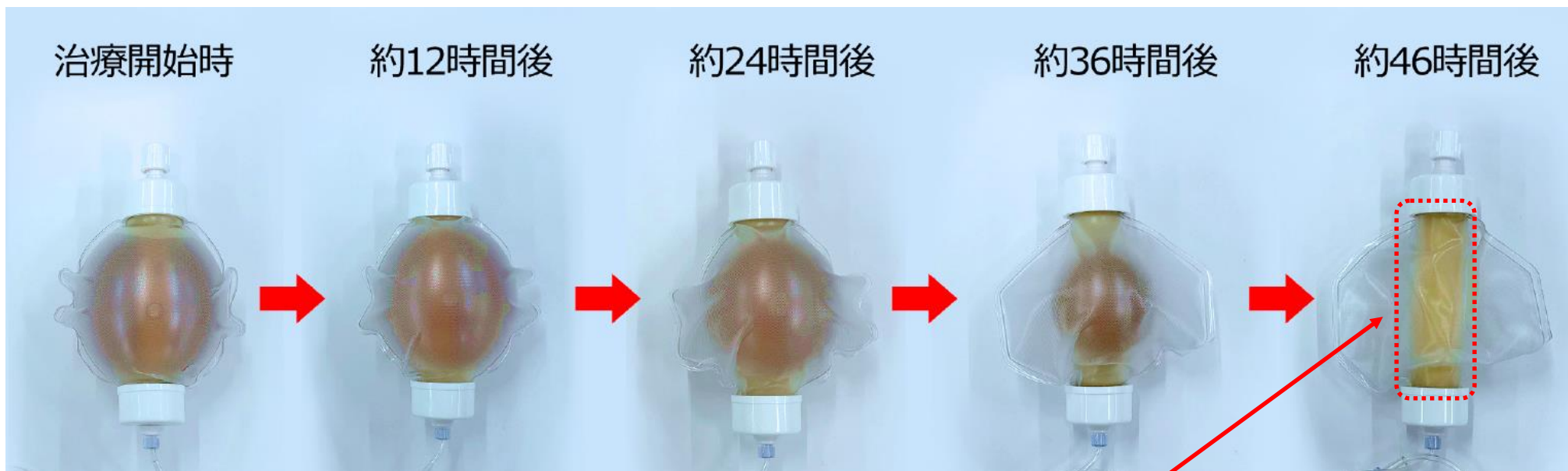
- 目視で確認する場合：ポンプのゴムのしぼみ具合を確認します。
- はかりで確認する場合：重さの減り具合を確認します。使用するはかりは、専用とすることが望ましいです。

## ●インフューザーポンプの残液量の目安



薬剤がなくなったら終了（ポンプのゴムの張りがなくなり、中心部の軸を触ることができたら終了）

# 薬剤の減り方の一例



薬剤がなくなったら終了（ポンプのゴムの張りがなくなり、中心部の軸を触ることが出来たら終了）

平成27年5月25日 作成

令和 2年2月28日 改訂

# ポート針の抜き方

※ポート針の抜き方のDVDをご参照ください。

※ポンプの中のゴム風船部分がしぼんで張りがなくなり、中心部の軸が触れることを確認し、ポート針を抜きます。

※本人以外がポート針を抜く場合は、ご本人に仰向けになっていただくと、針が垂直に抜きやすくなります。

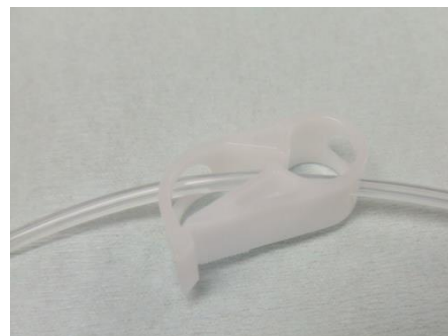
＜必要物品＞ 鏡、絆創膏、タッパーなどのフタつき容器、付属のジッパー袋と消毒綿



① インフューザーポンプの薬剤がなくなっていることを確認します



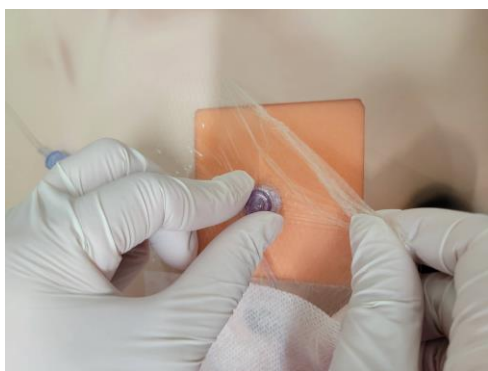
② 石鹸で手を洗います



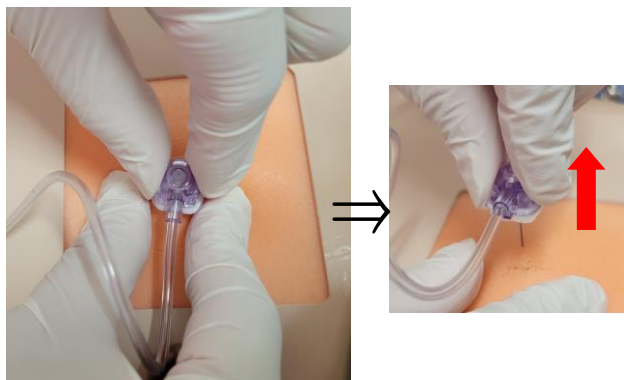
③ 2つのクレンメを閉じます



④ 消毒綿を用意します



⑤ 針が抜けないようにテープとドレッシング材をはがします



⑥ 周りの皮膚を押さえながら、針をまっすぐ上に引き上げます



⑦ 針を抜いた部分の皮膚を消毒綿で消毒します



⑧ 絆創膏を貼り、約1分間、指で押さえ止血を行います



⑨抜いた針先は鋭利ではないため、刺さることはありませんが、取り扱いには注意してください



⑩ポンプと抜いた針を付属のジッパー袋に入れジッパーをしっかりと閉じます



⑪ポンプと針が入ったジッパー袋をタッパー等の容器に入れます



⑫石鹸で手を洗い、終了です！

**\*容器ごと次回の受診時にお持ちください。専用のポーチも忘れずにご持参ください。**



平成20年 7月17日 作成  
平成23年 8月 4日 改訂  
平成29年11月21日 改訂  
令和 2年 2月28日 改訂  
令和 3年 2月26日 改訂  
令和 3年 7月 7日 改訂  
令和 4年 4月 8日 改訂